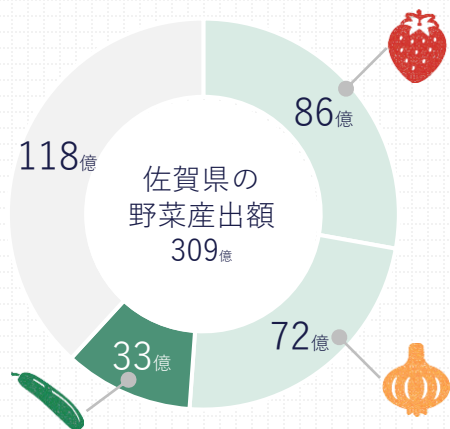


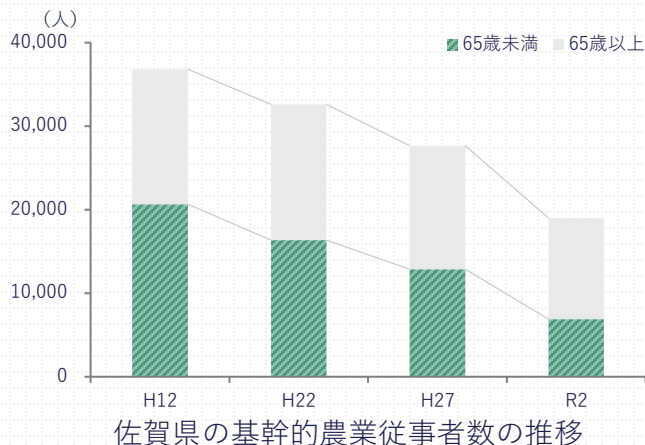
キュウリの養液栽培に取り組んでいます

キュウリは、イチゴ・タマネギに次いで第3位の野菜産出額を占める、佐賀県の主要品目です。ところが、少子高齢化や担い手不足により基幹的農業従事者数は減少しており、今後、産地を維持していくためには1戸あたりの面積を拡大していく必要があります。

そこで、野菜栽培研究担当では1ha規模の経営が可能な栽培様式や仕立て方法の選定を目標とし、大規模栽培や省力化が期待できるヤシガラ培地を用いた養液栽培に取り組んでいます。



※農林水産省令和3年産野菜生産出荷統計



佐賀県の基幹的農業従事者数の推移

※2020年農林業センサス

∴ 土耕栽培と比較した時の養液栽培のメリット ∴

01 | 作期拡大

耕起・畦立て等の作業が不要なため
定植作業が省力的で、作付け準備期間の短縮が図られ
作期延長が可能



02 | 管理がしやすい

土耕のように圃場内における土質や肥料ムラの影響が
少ないため、草勢を制御しやすく
ハウス全体の生育が揃い管理がしやすい



03 | 企業的経営

作業の単純化・効率化・省力化による
大規模雇用型の企業的経営が可能